

生徒の皆さんへ

新型コロナウイルスが発生して数か月が経ち、テレビや新聞では感染症関連のニュースばかりが目飛び込んできます。報道を見る限りでは感染拡大の勢いは収まらず、なかなか終息の兆しが見えてきません。新学期が始まって以来、休校が続いておりますが、皆さんはどの様にして過ごしていますか？長い間、皆さんの顔を見ることが出来ず、少し心配になっています。この先どうなるのだろうと不安に思ったり、外出が出来ずにストレスを感じている人も多いのではないのでしょうか。また、全国中学校体育大会に続き、全国高校総体も中止が決定し、各種大会も中止または検討されています。部活動に励んできた皆さんにはかける言葉も見つかりません。学校での勉強、部活動、友だちとの他愛もない会話といった当たり前の日常生活のありがたみを改めて感じている人も多いのではないのでしょうか。新入生の皆さんは希望を胸に入学してきたにも関わらず、まだ学園生活を送ることができないのは例えようもない気持ちにさせられます。そして、受験を控えた高校3年生の不安は計り知れないものと思います。この休校時に私たちが皆さんのために何ができるか、日々検討しています。

今、生徒の皆さんの健康を第一に、規則正しい生活が送れるよう、また学習機会の確保を念頭において、iPad を使った健康チェックや学習支援を行っております。中学1年生はまだ iPad を十分に使いこなすことができないため、プリント配布を中心とした取り組みを行っております。先生たちは常に皆さんのことを思い、より良い課題・教材を提供するために日々頑張っています。生徒の皆さんはその課題にしっかりと取り組んでいますか。学校再開がまだ不透明で自粛生活の先が見えず、つつい今の状況を悲観的に捉えがちですが、まずは与えられた課題にしっかりと取り組んでください。新型コロナウイルスが蔓延するまでは、学校や塾の課題や小テストに追われ、忙しい日々を送っていた人も多かったのではないかと思います。逆に今は自分で時間が作れます。意

外と自由な時間があると持て余してしまう人もいますが、いかがなものでしょうか。何をするにも大切なのは、「自主性」「主体性」です。今だからこそ出来ることがあるとポジティブに捉え、学校からの課題だけではなく、自ら課題を見つけているんなことにチャレンジしてみてください。読書もいいかもしれませんね。自分の知らない世界に触れたり、新しい発見が見つかるかもしれません。英検、漢検、数検の準備をする、料理に挑戦してみる、窓から見える風景をデッサンしてみる、今の気持ちを曲にしてみる、毎日筋トレに取り組み、シックスパックを目指す、世界各国の国旗を覚える、近所の雑草を調べてみる、なんだっていいじゃないですか！今まで見えなかったことが見えてくるかもしれませんね。今度登校するときには、こんなことしたよって教えてください。楽しみにしています。

人類の歴史をみてみますと、今までもペストやコレラなど様々な感染症と闘い、その都度に終息させてきました。今もこの様な難局においても、医療従事者をはじめ様々な分野で真摯に仕事をされている人たちがいます。役割は人それぞれ違いますが、私たち一人ひとりが出来ることに取り組めば、必ず光は見えてくると思います。いたずらに怯えるだけではなく、正しい情報を見極め、冷静に対応することが重要です。「正解が一つではない問題」にどのように対応するか、正しい情報を元にして自分の頭で考えることは、今後の様々な場面で生きてくるはずです。

皆さんの元気な笑顔を見られる日が一日も早くやってくることを願っております。三田学園の皆さん、私たちと一致団結してこの難局を乗り越えていきましょう。

三田学園中学校・高等学校

校長 松井 忠幸